

## 21 風土と民族音楽～「さわり」の機巧と音色

【全6回】／開催方法：現地

せこやすお  
瀬古康雄

シタール奏者  
しまねガムラン主宰  
島根県立大学短期大学部  
非常勤講師



受講料 一般料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：5月9日）

【日程】【全6回】 1回／月 第2土曜日  
(5/14、6/11、7/9、10/8、11/12、12/10)

【時間】13:30～15:00

■受講に必要なもの  
レジュメ配布

アジア各国の伝統的な民族音楽や舞踊はそれぞれの国の自然や文化に深く根ざしているように感じられます。それぞれの国の音楽は、その国の人々に世代を超えて愛され、いわば、「自己の存在了解の仕方」とでも言うべき「風土性」を持っています。この講座は、民族音楽は初めてという人のための入門講座で、インド音楽を中心にして、現地で収録したビデオや熊野大社で行われた庭火祭などの日本公演のビデオを鑑賞します。

今年度は「さわり」の機巧と音色がテーマです。三味線や琵琶の音色は「さわり」と呼ばれる工夫によって高次倍音を含んだ独特の響きが生まれるところに味わいがあります。この講座では、インドのシタールの「ジョワリ（さわり）」から始めて、パーンスリーや尺八、八雲琴などの民族楽器の音色を「さわり」やドローン、復弦の効果などを体感しながら味わい、あわせて、高次倍音を含む音色から「ナーダ・ブラフマー（宇宙は音）」や「一音成仏」など、宇宙的な響きの根元にも触れてみたいと思います。

参考書は特に定めませんが、参考文献を適宜提示するとともに、授業で使用したCDやDVDを閲覧可能にします。

## 22 初歩からはじめる仏像彫刻

【全8回】／開催方法：現地

いしがよしあき  
石賀善章

倉吉市文化財協会理事  
鳥取県文化財保護指導員  
日本木彫協会賛助会員



受講料 一般料金：¥13,800 早割価格：¥12,800（納入期限：5月16日）

【日程】【全8回】 1回／月 第3土曜日  
(5/21、6/18、7/16、10/15、11/19、12/17、1/21、2/18)

【時間】10:30～12:00

■受講に必要なもの  
彫刻刀セット品など3000円～ 材料代300円～

日本における仏像彫刻技法は平安時代の仏師、定朝によって確立されたと言われ、以来、その伝統は時々の時代に翻弄されつつも現在に伝わっています。

講座では仏像の魅力と歴史を紹介しながら、テキストに従い刃物の使い方の基礎である地紋彫から救世観音像及び聖観音像まで学んでいただきます。必要用具としては、彫刻刀（セット品に買い足しても可）、筆記用具。用材の紅松材は課題にあわせ別途販売いたします。（300円～1000円程度）

その他、経験者の方には別途課題図面／用材など用意いたします。基礎から学び安全に、長い歴史に育まれた仏像彫刻の優美さを体験しつつ、世界に二つとない、ご自身の祈りのかたちを具現化して頂ければと思います。



### 【参考書】

- ①『仏像彫刻のすすめ』 著者：松久朋琳 出版社：日貿出版社 出版年：2016
- ②『続仏像彫刻のすすめ』 著者：松久朋琳、松久宗琳 出版社：日貿出版社 出版年：1975